

日本海ガス株式会社

2026 年 10 月 29 日

## 原料費調整（スライド）制度に基づく 2026 年 12 月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026 年 12 月検針分に適用される従量料金単価を、2026 年 11 月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり + 8 円 10 銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1 か月のご使用量が 20 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額 7,039 円（税込）となり、162 円（2.36%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となる LNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる 2026 年 7 月～2026 年 9 月の LNG、プロパンの平均原料価格を 2026 年 7～8 月の貿易統計確報値および 2026 年 9 月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は 117,030 円／t となります。2026 年 11 月検針分のガス料金調整額を算定した 2026 年 6 月～2026 年 8 月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる 2026 年 7 月～2026 年 9 月の実績平均原料価格は、トンあたり 9,230 円上昇することになりますので、料金調整は上記のとおりとなります。

●2026 年 12 月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026 年 11 月検針分の従量料金単価に対して、+8.10 円の調整となります。

| 料金表 | 1 か月の<br>使用量                                 | 基本料金<br>(1 か月あたり) | 従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり) |             |
|-----|----------------------------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------|
|     |                                              |                   | 2026 年 12 月                   | 2026 年 11 月 |
| A   | 0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで     | 1,215.61 円        | 315.12 円                      | 307.02 円    |
| B   | 10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで  | 1,694.11 円        | 267.27 円                      | 259.17 円    |
| C   | 170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで | 10,576.83 円       | 215.02 円                      | 206.92 円    |
| D   | 500 m <sup>3</sup> を超える                      | 12,721.83 円       | 210.73 円                      | 202.63 円    |

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2026 年 12 月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1 か月のご使用量が 20 m<sup>3</sup>）の場合

| 2026 年 12 月適用料金<br>(a) | 2026 年 11 月適用料金<br>(b) | 増減 (c)<br>(a) - (b) | 増減率<br>(c) / (b) |
|------------------------|------------------------|---------------------|------------------|
| 7,039 円                | 6,877 円                | +162 円              | +2.36 %          |

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む 1 か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの 2021 年～2025 年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円／t）および従量料金単価調整額（円／m<sup>3</sup>）

|                   | 2026. 7～2026. 9 | 2026. 6～2026. 8 | 基準平均原料価格 |
|-------------------|-----------------|-----------------|----------|
| LNG 平均輸入価格(貿易統計値) | 116,780         | 106,660         | 85,940   |
| プロパン平均輸入価格(貿易統計値) | 111,220         | 117,090         | 79,770   |
| 平均原料価格(LNG 換算)    | 117,030         | 107,800         | 86,000   |

■2026 年 7 月～2026 年 9 月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9461 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0588 \\
 &= 116,780 \text{ 円/t} \times 0.9461 + 111,220 \text{ 円/t} \times 0.0588 \\
 &= 117,025.294 \text{ 円/t (10 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{117,030 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 117,030 \text{ 円/t} - 86,000 \text{ 円/t} \\
 &= 31,030 \text{ 円/t (100 円未満切捨て)} \\
 &= \underline{31,000 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額（1 m<sup>3</sup>あたり）の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} \\
 &= \{ 31,000 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.1 \} \\
 &= 27.28 \\
 &= \underline{27.28 \text{ 円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額 100 円につき従量料金単価を 0.088 (0.080 × 1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第 3 位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第 3 位以下を切上げます。

|                            | 2026 年 12 月 | 2026 年 11 月 | 増減    |
|----------------------------|-------------|-------------|-------|
| 調整額 (円/m <sup>3</sup> ・税込) | +27.28      | +19.18      | +8.10 |

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川 （TEL：076-442-5020）